



ふくしまDC、はじまる。

県と県内全市町村、JR6社が一体となって取り組む観光キャンペーン「ふくしまデスティネーションキャンペーン(DC)」が4月1日からはじまりました。

DCは、地元観光関係者とJRグループが共同で作りに上げる、国内最大級の観光キャンペーンです。

開催地側は、観光資源の磨き上げやおもてなしの充実などを図って受け入れ体制を整え、JR側は全国に向けて大々的に開催地をPRすることで集客を図ります。

6月30日までの期間中、県内各地では、さまざまなおもてなしやイベントを展開します。

今月号では、本町における取り組みを紹介するとともに、DC成功のため、私たちにできることを考えます。

●DCに関する問い合わせ先
商工観光課 ☎(62)2117

写真/野口勝宏



Pick Up

今月のイベント

春を告げる伝統の舞 「西久保彼岸獅子」

西久保地区に伝わる町指定の重要無形民俗文化財「西久保彼岸獅子」が3月21日、西久保公民館で披露され、同地区の住民の皆さんが春の訪れを告げる舞を楽しみました。

太夫獅子、雄獅子、雌獅子の三体一組が、お囃子に合わせて舞う同地区の彼岸獅子。この日は「通り」から「弓くぐり」まで全11番ある舞のうち、9つを披露。美しく勇壮な舞で会場に詰めかけた子どもからお年寄りまでの観客を魅了しました。

舞を継承する西久保彼岸獅子保存会(渡部克宏会長)によると、同地区の彼岸獅子は100年以上の歴史があり、住民の無病息災を祈るだけでなく、かつては武士の士気を高めるためにも奉納されていたそうです。

舞は門外不出とされ、同地区内の跡取りにのみ継承されてきました。戦争により一時中断したものの、1948(昭和23)年に再び行われるようになり、同保存会が毎年春彼岸の中日に奉納しています。現在まで彼岸獅子が伝わっているのは、町内では西久保地区のみです。

太夫獅子を務めるようになり3年目を迎えた鈴木歩さんは「代々伝わってきたものなので、後の世代にもつなげていきたい」と話しました。

まちの応援マガジン いなわしろ

広報 猪苗代

Apr.2015
4
No.654

今月の表紙



Pick Up でも紹介した西久保彼岸獅子での一コマ。太夫獅子を務めた鈴木歩さんに抱っこされているのは、長男の翔音くん。舞が終わり、ママからパパへと渡されると、「こんなのパパじゃない」と言わんばかりに泣きながら抵抗していました。

【撮影日】3月21日
【撮影場所】西久保公民館

Contents — 【目次】

- 02 PICK UP
- 03 特集 ふくしまDC、はじまる。
- 06 二人三脚で追いかけた夢
- 08 平成27年度予算
- 10 介護保険制度が変わります/守ろう美しい川と湖
- 12 写真特集 卒業・卒園
- 14 まちのわだい
- 16 笑顔でこんにちは/スクールトピックス/「猪苗代そば餃子」を町内4店舗で提供開始 ほか
- 18 いなわしろタウンページ
- 26 暮らしの情報広場
- 28 みんなの美術館/食生活改善推進員コーナー



Interview

写真家
野口 勝宏さん
(東南真行出身)

【Plofile】1959年生まれ、写真家。東日本大震災を契機に“福島の花で世界の人々を笑顔にしたい”と「福島の花」シリーズを撮影・制作。国内外で高い評価を受ける。ふくしまDCではJR東日本のメインイメージに採用され、ポスターや駅構内・ラッピング車両を花で彩る。

「花が人と人を結び、みんなを笑顔にする」

ふくしまDCでJR東日本のメインイメージを手掛ける、写真家の野口勝宏さん(東南真行出身)。主に広告用写真の仕事をする傍らで、県内に咲く花の写真作品「福島の花」シリーズを撮影・制作しています。

「震災後しばらくの間、ぱったりと仕事が止まりました。テレビをつけると毎日震災のことばかり。そんなとき、近所の人が『花でも撮ってみたい?』と花を持ってきてくれたんです。それを見て目頭が熱くなり、『花というのはこんなに人の心を動かすものなのか』と感じました。その後、花の写真をあげたら、とても喜んでくれた。その時に、仕事では感じたことのない喜びを感じたんです」と野口さんは花の写真を撮り始め

たきっかけを語ります。

「福島の花」の撮影を始めてから約1年後、フェイスブックを開設し写真を掲載すると、瞬間に話題沸騰。国内外で同シリーズの写真展や動画が紹介され、著書「ここは花の島」も出版されるなど、大きな反響を呼んでいます。

「花は、国も宗教も年齢も関係なく、感じあえるもの。人と人を結び、みんなを笑顔にしてくれるんです」と野口さん。3月下旬には、凱旋展ともいえる写真展が和みいまで開かれました。

「自分が撮った写真で、世の中がどう変わっていくのを見てみたい」と語る野口さん。とどまることを知らないムーブメントは、どこまで広がりを見せるのか、今後ますます目が離せません。

●**私たちにできること**

DCを実施するのは観光関係者、自治体やJRですが、DCを成功させるために、私たち個人にもできることが少なからずあるのではないのでしょうか。

ふくしまDCのメインイメージを手掛ける写真家、野口勝宏さんの活動がそのヒント。

「みんなを笑顔にしたい」「喜んでほしい」という気持ちから、個人的に撮影・制作を始

めた「福島の花」シリーズは、人の心を動かし、また別の人へと伝わり、それが連鎖して大きな反響を巻き起こしています。

「人に喜んでほしい」という気持ちは、おもてなしにも欠かせないもの。人に親切にしたら、温かく接してもらったりすると、とても心地よいものです。そして、その人の記憶に深く刻まれます。

そしてまた、人に喜んでもらうことが自分の喜びにもつながる。

私たち一人一人が、町に来てくれた人たちに喜んでもらうためにどうすればいいのか考え、行動することが、リピーターの獲得につながる、ひいては本町や本県の観光を大きく変えることになるかもしれません。

「道を聞かれたら親切に教えてあげる」「笑顔であいさつをする」など、ちょっとしたことで、自分なりの「おもてなし」を考えてみませんか。

にもつながります。



中央商店街の街路灯に設置された歓迎のフラッグ

●**テーマは「花」「食」「温泉」**

ふくしまDCのメインテーマは、「花」「食」「温泉」。そのどれもが自慢できる本町にぴったりのテーマでもあります。

本町の桜は、ゴールデンウィークが見頃。観音寺川や町営牧場などの桜の名所では、桜まつりも開催されます。

「食」においては、町の代表的な「食」ともいえる「そば」、

●**ふくしまDCの目的**

東日本大震災後に落ち込んだ本県の観光客数は回復傾向にあるものの、原発事故による風評は根強く、震災から4年がたった現在もなお、観光入込客数は震災前の水準まで戻っていません。

このような状況を打破し、本県の観光を震災前の水準に戻すための足掛かりとするのが今回のふくしまDCの目的で、福島県全体での開催は、平成13年以来14年ぶりとなります。

●**本町での取り組み**

猪苗代観光協会や町内の観光施設では、ふくしまDCの開催に合わせて、さまざまな特別企画、イベントやおもてなしを実施します。

猪苗代観光協会では、DC開幕前に、JR猪苗代駅前から中央商店街までの街路灯に歓迎のフラッグを設置。同協会では、

町のブランド米「いなわしろ」天のつぶや町自慢の和・洋スイーツなどを積極的に発信します。

また、猪苗代は県内有数の温泉どころ。18もの源泉があり、湯めぐりにはうってつけです。

野口英世記念館がリニューアルオープン



写真上_リニューアルされた館内。日本初の体験型アトラクション「バクテリアウム」やクイズなど、楽しみながら学べる工夫が満載です

写真下_DC期間中、博士の生家前で紙芝居を披露しています

ふくしまDC本番に向けてパワーアップ!!

福が満開 おもてなし隊 DC開幕版

参加者募集中!!

福が満開おもてなし隊とは...ふくしまDCのキャッチコピー「福が満開、福のしま。」には、春に咲き誇る花々や130を超える良質な温泉、豊かな食など、福島にあふれる観光資源の魅力と、全国からのご支援に対する感謝の笑顔で、福島を訪れる人をみんなでおもてなししたいという気持ちが込められています。この気持ちを本県に訪れるお客様に伝え、「福島にまた来たい」と感じてもらえる福島をつくりあげていく活動が「福が満開おもてなし隊」です。

登録申込書のダウンロードWebからのお申込みはこちら▶ [福が満開おもてなし隊](#)

お問合せ 福島県観光復興キャンペーン委員会(県観光交流課内) TEL 024-521-7398 [ふくしまDC](#)

自治体・企業・団体・事業者向け

ふくしまDC用 オリジナル PRツール配布中

PRツール例)のぼり、ポスター、パンフレット、ステッカー等。オリジナルPRツール及びその発送に要する経費は無料です。

[ふくしまDC 盛り上げたい!](#)

花巡り!

福島県の花の名所を巡る

花の王国 ふくしま

キビタンフラワースタンプラリー 2015

開催期間:2015年3月21日(土)~6月30日(火)

福島県7エリア 218箇所の花の名所にあるスタンプを集めて、豪華プレゼントをもらおう!

食・温泉巡り!

ふくしまステイションキャンペーン特別企画

福が満開、福のしま。プレゼント&クーポンキャンペーン 2015

2015年1月9日(金)~12月31日(日)

DC期間中はプレゼント多数!!

豪華プレゼントをもらおう!

県内1033施設が参加 宿泊施設や観光施設などを巡ってポイントを集めて豪華プレゼントをもらおう!

歴史+街なか巡り!

謎の宝探しイベント in 福島

コードF-5

県内30エリアで開催!!

開催期間 2015年3月20日(金)~9月27日(日)

謎めいた宝の地図を手がかりに、福島県内各地のどこかに隠された宝箱を探す体験型の宝探しゲーム。宝箱の発見者には、各エリアの素敵な特典や発見者賞のほか、抽選で豪華賞品をプレゼント。